〒123-4567　　0000000001

京都府△△市□□１－２－３

国保　一郎　　様

1234567890

0000000001

この通知書の送付を希望されない方は、お手数ですが
木津川市　国保年金課　国保年金係
までご連絡ください。
電話　０７７４－７５－１２１４

木津川市国民健康保険からのお知らせです。

木津川市　国保年金課　国保年金係
〒619-0286
京都府木津川市木津南垣外１１０番地９

ジェネリック医薬品に関するお知らせ

皆様の医療費負担を軽減する対策の一つとして、現在処方されている医薬品をジェネリック医薬品に切替えた場合にお薬代がどれくらい軽減できるのか、その一例をお知らせしております。

ジェネリック医薬品はこんなお薬です

ジェネリック医薬品は、効き目や安全性が実証されているお薬（先発医薬品）と主成分が同一であることなどが審査され、国から製造・販売が承認された安価なお薬です。
なお、先発医薬品と全く同じではなく、形や添加剤、色、味などは異なる場合があります。

なぜ安いのですか?

先発医薬品の開発には多額の費用がかかりますが、ジェネリック医薬品は開発期間が短く、低コストなため、価格も安くなっています。

効き目と安全性は?

先発医薬品の特許がきれた後に製造され、これまで効き目や安全性が実証されてきたお薬（先発医薬品）と主成分が同一のお薬です。

ジェネリック医薬品を処方してもらうには?

病院・診療所にて…

または

薬局にて…

※処方せんの「変更不可」欄に医師のサインがなければ、薬局でジェネリック医薬品に変更できます。

医師・薬剤師に相談してみましょう!

お問い合わせ先

《このお知らせに関するお問い合わせ》

0120-433-400

※10:00～17:00　（土・日・祝日を除く）
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

番号　1234567890

ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減可能額に関するお知らせ

ジェネリック医薬品は、みんなの医療費負担が軽くなるお薬です。

国保　一郎　　様

平成　27　年　12　月の処方実績から

あなたが支払ったお薬代※1
5,950 円

→

ジェネリック医薬品に切替えると、お薬代が
3,130 円
になると見込まれます。※2

→

約
2,820 円
程度の
ご負担が軽くなると見込まれます。

このお知らせ※3では、過去にあなたに処方された主なお薬※4を、主成分が同一のジェネリック医薬品※5に変更した場合に軽減可能なお薬代を参考までにご紹介しております。ジェネリック医薬品への変更は、かかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。

平成27年12月分の処方実績					ジェネリック医薬品に※2切り替えることで軽減できる金額
医療機関・薬局区分 処方されたお薬※4	お薬の単価	数量	単位	お薬代※1（3割負担）	
薬局					
キネダック錠50mg	121.7 円	84.0	錠	3,060 円	1,430 円 程度
メバロチン錠10　10mg	94.8 円	28.0	錠	790 円	370 円 程度
ノルバスクOD錠5mg	54.5 円	28.0	錠	450 円	180 円 程度
小計				4,300 円	1,980 円 程度
薬局					
オパルモン錠5μg	69.3 円	63.0	錠	1,300 円	600 円 程度
ミオナール錠50mg	18.6 円	63.0	錠	350 円	240 円 程度
小計				1,650 円	840 円 程度
合計				5,950 円	2,820 円 程度

※1 お薬代のみを対象としています。実際に医療機関や薬局へお支払いになる金額には、お薬代以外の診療や調剤等に要する費用が含まれています。お薬代が下がっても、処方せん料などの有無により、医薬品関係の支払金額は先発医薬品使用時と変わらないか、上がることもあります。また、国や市区町村から医療費助成を受けている場合には、実際の支払金額と異なる場合があります。

※2 実際に支払った「お薬代」に対して、このお知らせ発行時点でジェネリック医薬品として認定を受けているお薬に変更した場合、どの程度お薬代が軽減できるかをご紹介しております。ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合があるため、実際の軽減額にも幅がありますので目安としてご参考ください。

※3 このお知らせは、医療機関・薬局の過去の請求データに基づき作成されております。軽減できる金額が大きいものから順に記載しており、このお知らせに記載しきれない場合があります。なお、一部の金額表示につきましては、10円未満切り捨て、および100円未満切り捨てで表示させていただいております。

※4 このお知らせに記載しているお薬は、生活習慣病（高血圧症、糖尿病、高脂血症等）や慢性疾患（喘息、リウマチ等）で長期服用をされている医薬品を中心としており、短期処方のお薬等は記載していません。

※5 先発医薬品とジェネリック医薬品とは主成分が同一ですが、使用できる病気（効能）が異なるなどの理由で切り替えることができない場合があります。また、全ての先発医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。同じ医薬品（先発医薬品やジェネリック医薬品）であっても、個人によって効き方や副作用などは異なる場合がありますので、医薬品に関する詳しい内容は医師・薬剤師にご相談ください。

0000000001